



ないすいはんらん がいすいはんらん
内水氾濫と外水氾濫

ないすいはんらん
内水氾濫



市街地に排水能力を超える多量の雨が降り、排水が雨量に追いつかず建物や土地が水に浸かる現象です。

がいすいはんらん
外水氾濫



大雨によって、河川を流れる水が大幅に増え、堤防が決壊したり、堤防から水があふれたりすることにより、水が流れ出す現象です。

おおあめ そうてい ひがい
大雨によって想定される被害

どうろ かんすい
道路の冠水



エンジンが停止したり、ドアが開かないなど、車内から出られないことがあります。

ゆかした ゆかうえしんすい
床下・床上浸水



流れ込んでくる水は泥水であり、水がひいた後も土砂や汚泥が堆積するため、片付けが大変です。

かおく どうかい
家屋の倒壊



河川沿いでは、家屋が倒壊する可能性があり、命の危険性もあります。

かせん はんらん ひなん
河川の氾濫と避難のタイミング

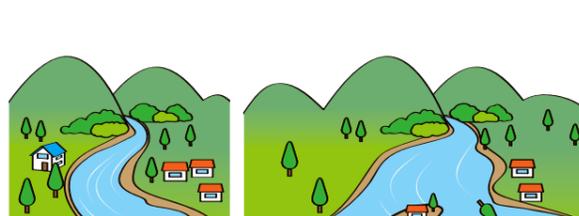
だいかせん
大河川



- 広い範囲が浸水する
- 長時間浸水するリスク



ちゅうしょうかせん
中小河川



- 山地では川幅が狭く勾配が急
- 水位が短時間に急激に上昇
- 大量の土砂や流木が流れ、被害が大きくなる

ひなん
避難のタイミング

- 移動に時間がかかる人は「高齢者等避難」で避難をしましょう。
- 「避難指示」ですべての人が安全な場所へ避難をしましょう。
- 避難情報が解除されるまで安全な場所で避難を続けましょう。

※避難のタイミングを逃したときは、少しでも浸水しにくい高い場所に緊急的に移動するなど、命を守る最善の行動をとってください。

避難のタイミングは、避難行動判定フロー(P32)で確認してください。



こうずいし てきせつ ひなんこうどう
洪水時の適切な避難行動

ひなん
避難をするときの心得



動きやすい服装で、必要最小限の荷物で避難しましょう。



歩きやすい「履物」をはきましよう。長靴は、水が入ると重くなるのでやめましよう。



歩いて避難できる深さは、ひざ下程度といわれています。ただし、流れによっては足をすくわれる危険性があります。



地面がみえにくくなり、マンホールや水路などにおちてしまう危険性があります。棒を使い、足下に注意して歩きましょう。



夜間の避難は、周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しましょう。



子どもや高齢者の避難を手助けしましょう。(早めの避難が大切です。)



車での避難は控え、なるべく徒歩で避難しましょう。車は浸水すると故障し、緊急車両の通行の妨げになる可能性があります。



地下道(アンダーパス)には、水が溜まっている危険性があります。違うルートを通りましよう。

ちいき たす あ
地域での助け合い

したい ふじゆう ひた
肢体が不自由な人には…



2人で抱える場合は、1人が背中側から両脇に手を入れて抱きかかえ、もう1人が両脚を持って移動しましょう。

みみ ふじゆう ひた
耳が不自由な人には…



口をハッキリと開け、相手にわかりやすいように話ましよう。手話、筆談、身振り等の方法で正確な情報を伝えましよう。

め ふじゆう ひた
目が不自由な人には…



災害時には、声をかけ情報を伝えましよう。誘導する場合は、支援者のひじ辺りを軽く持ってもらい半歩前をゆっくり歩ましよう。

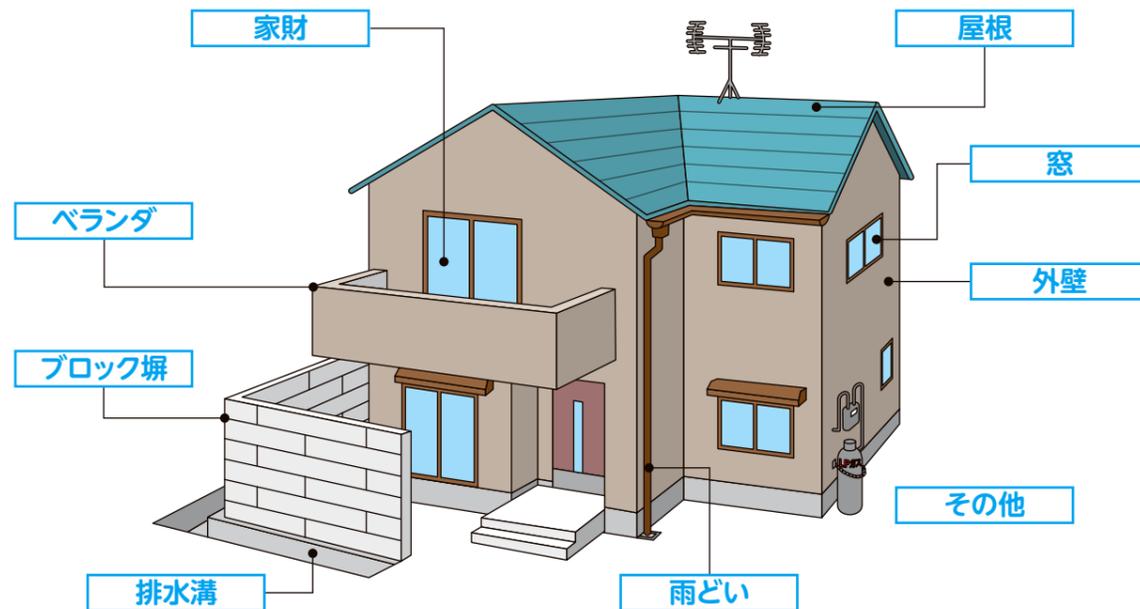
がいこくじん
外国人には…



身振りや手振りで話しかけ、孤立させないようにましよう。

ふうすいがい ぞな
風水害への備え

いえ まわ かくにん たいさく
■家の周りを確認し、対策をしておきましょう



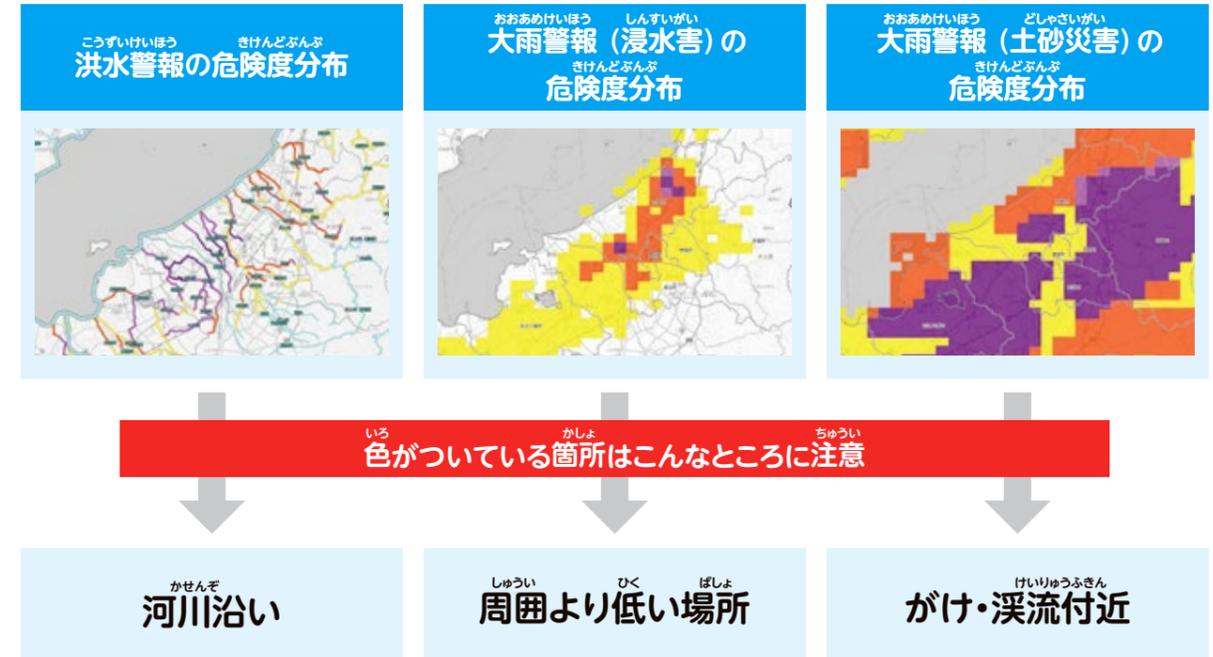
屋根	窓	家財
<input type="checkbox"/> アンテナは不安定ではないか <input type="checkbox"/> トタンがめくれていないか <input type="checkbox"/> 瓦のひび・割れ・はがれはないか	<input type="checkbox"/> 窓枠のがたつきはないか <input type="checkbox"/> 雨戸のがたつきはないか	<input type="checkbox"/> 貴重品などは、すぐに持ち出せるようになっているか <input type="checkbox"/> 濡れて困るものは、あらかじめ高い場所へ移動しているか
ベランダ	雨どい	ブロック塀
<input type="checkbox"/> 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険があるものはないか	<input type="checkbox"/> 雨どいに落ち葉などがつまっていないか <input type="checkbox"/> 継ぎ目ははずれや塗装のはがれ、腐りはないか	<input type="checkbox"/> ブロック塀は崩れそうになっていないか
外壁	排水溝	その他
<input type="checkbox"/> 壁に亀裂はないか	<input type="checkbox"/> 排水溝にごみや土砂が詰まっていないか	<input type="checkbox"/> 商店などでは看板のぐらつきがないか <input type="checkbox"/> ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定しているか <input type="checkbox"/> 庭木には添え木をしているか <input type="checkbox"/> プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定されているか

すいがい かん じょうほう
水害に関する情報

きけんどうぶん かん じょうほう
■危険度分布に関する情報

キキクル 危険度分布 🔍 検索

気象庁では、大雨による洪水、浸水害、土砂災害の危険度を危険度分布(キキクル)のホームページで色分けして掲載しています。紫色は危険度が高いことを示しています。



かせん すいい かん じょうほう
■河川の水位に関する情報

滋賀県 河川防災カメラ 🔍 検索



※彦根市が発令する避難情報は、状況に応じて既定の水位に達する前に発令することがあります。



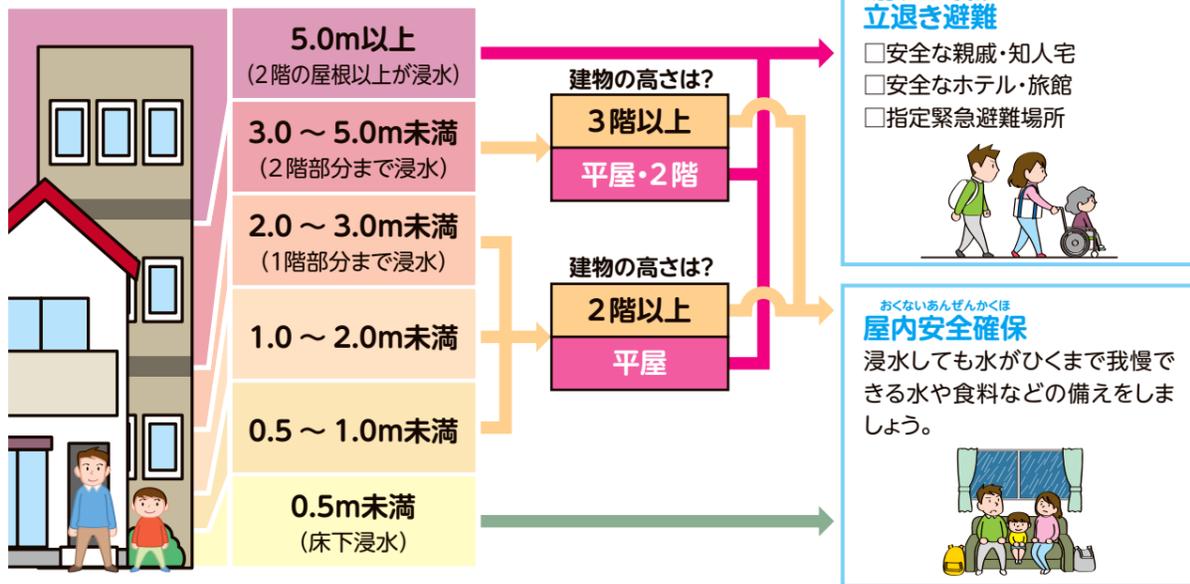
トピックス

- 浸水深と避難行動を確認しましょう。
- 早期の立退き避難が必要な区域は要注意。
- 避難行動判定フローを参考に、避難のタイミングを確認しましょう。



みかた
ハザードマップの見方

① 自宅・職場の浸水深をチェック



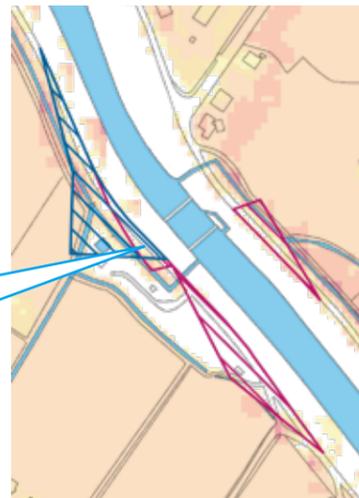
② 斜線は要注意 → 家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋の倒壊をもたらすような氾濫流や河岸侵食が発生するおそれがある堤防沿いの地域は、早めの立退き避難が必要です。

これらの区域では確実に早めに立退き避難をしてください



●ハザードマップでの表記例



計画規模と想定最大規模の違い

計画規模とは「河川整備の目標とする降雨規模」です。降雨規模は100年に一度程度を想定しています。

想定最大規模の降雨規模は1,000年に一度程度を想定しています。

1,000年に一度とは、1,000年ごとに一度発生する周期的な降雨ではなく、1年の間に発生する確率が1/1,000以下の降雨です。

計画規模とは
概ね100年に一度の大雨

想定最大規模とは
概ね1,000年に一度の大雨

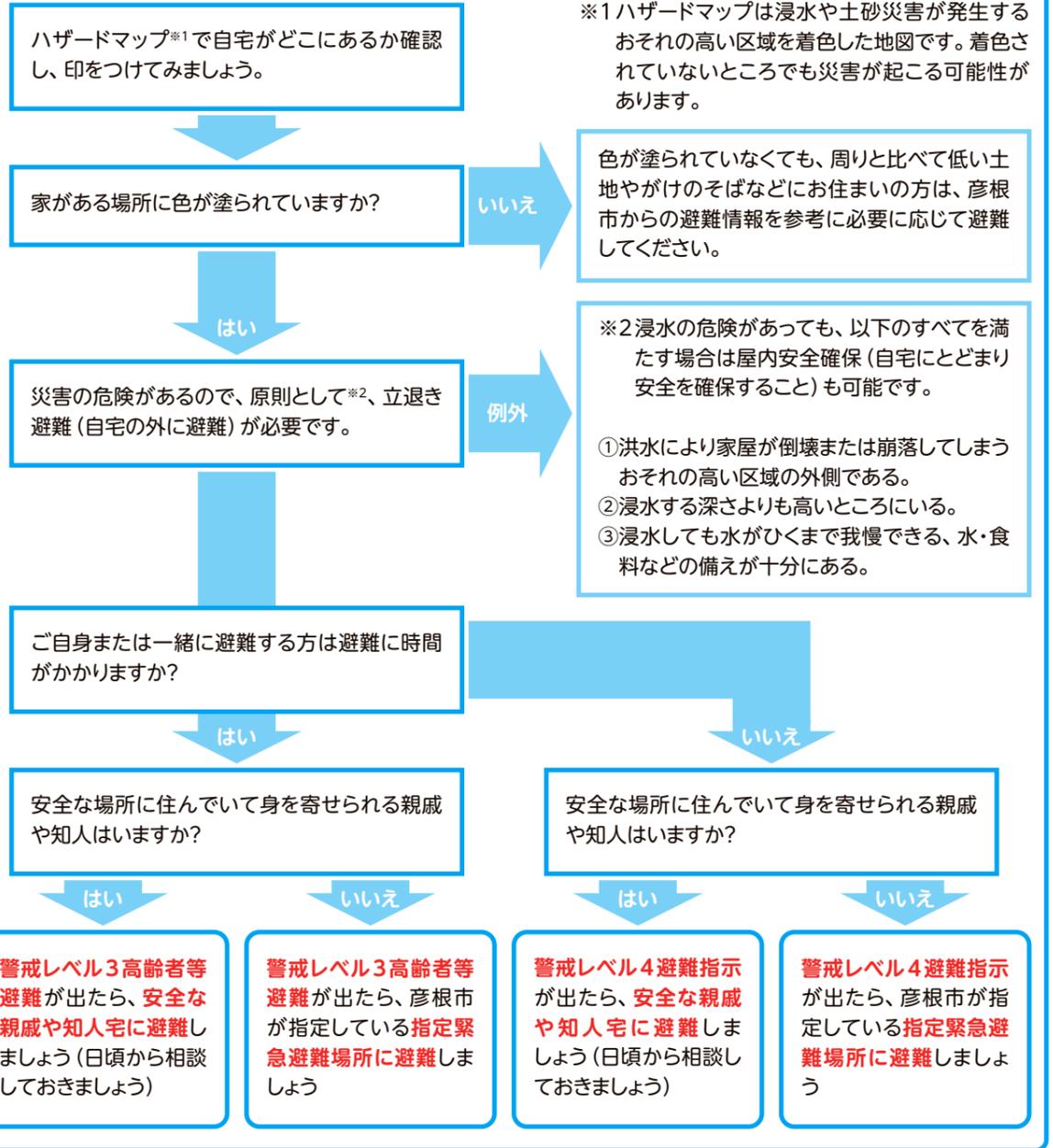
避難行動判定フロー

避難行動判定フローに従い、「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

必ず取り組みましょう

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は?



あなたがとるべき行動を知ったら

マイ・タイムラインを作りましょう(P97、P98)

彦根市で水害が起きたら

■ 平常時



芹川 犬上川/今橋



犬上川/宇尾大橋下流 犬上川/中州



犬上川/犬上川橋 宇曾川/金沢大橋

■ 大雨が降ると (平成25年9月台風18号)



芹川 犬上川/今橋



犬上川/宇尾大橋下流 犬上川/中州



犬上川/犬上川橋 宇曾川/金沢大橋

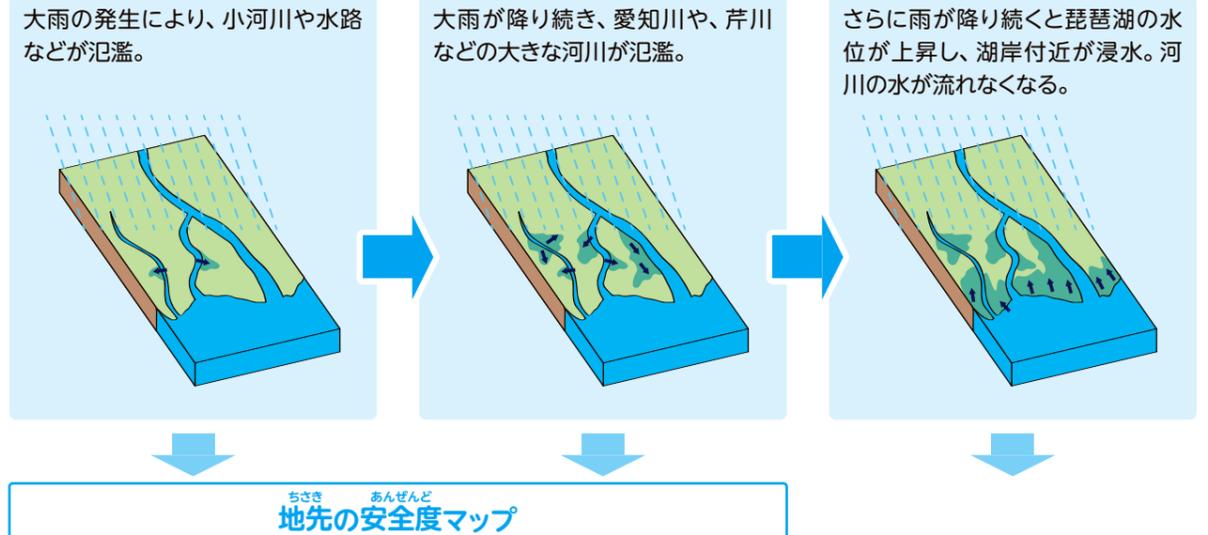
■ 風水害危険度評価

各シミュレーション結果を参考に、水害発生時に立退き避難が必要となる世帯数・人数^{*1}を算出しました。

	計画規模		想定最大規模	
	世帯数	人数	世帯数	人数
芹川	3,482戸	7,179人	9,693戸	21,142人
犬上川	1,248戸	2,786人	5,331戸	11,941人
宇曾川	306戸	740人	1,552戸	3,868人
愛知川	435戸	1,073人	1,064戸	2,698人
琵琶湖	84戸	189人	3,545戸	8,530人
地先の安全度 ^{*2}	3,129戸	6,718人	4,392戸	9,348人
重ね合わせ ^{*3}	5,613戸	12,020人	13,909戸	31,218人

^{*1}水害発生時に立退き避難が必要となる世帯数・人数は、居室が浸水し自宅で垂直避難が行えない世帯数・人数を算出。
^{*2}地先の安全度は、計画規模は100年に一度の大雨、想定最大規模は200年に一度の大雨のシミュレーション結果を使用。
^{*3}芹川、犬上川、宇曾川、愛知川、琵琶湖、地先の安全度の浸水想定区域を重ね合わせ、最大となる浸水深で世帯数・人数を算出。

洪水浸水想定区域図と地先の安全度マップの違い



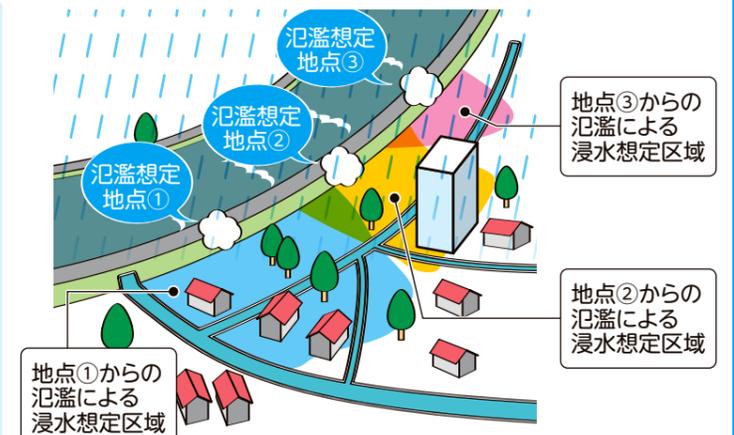
地先の安全度マップ 洪水浸水想定区域図

■ 洪水浸水想定区域図

対象河川において想定される最大浸水区域の把握が可能

水防法に基づく洪水浸水想定区域図は、特定の河川が氾濫した場合の浸水状況を把握することを目的とし、側溝や水路、中小河川などの内水氾濫は考慮していません。

芹川はP36、犬上川はP37、宇曾川はP38、愛知川はP39、琵琶湖はP40へ

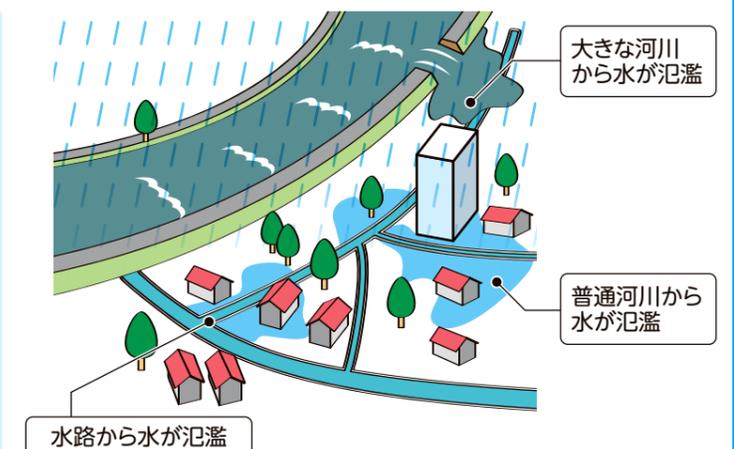


■ 地先の安全度マップ

内水氾濫を考慮した河川氾濫の把握が可能

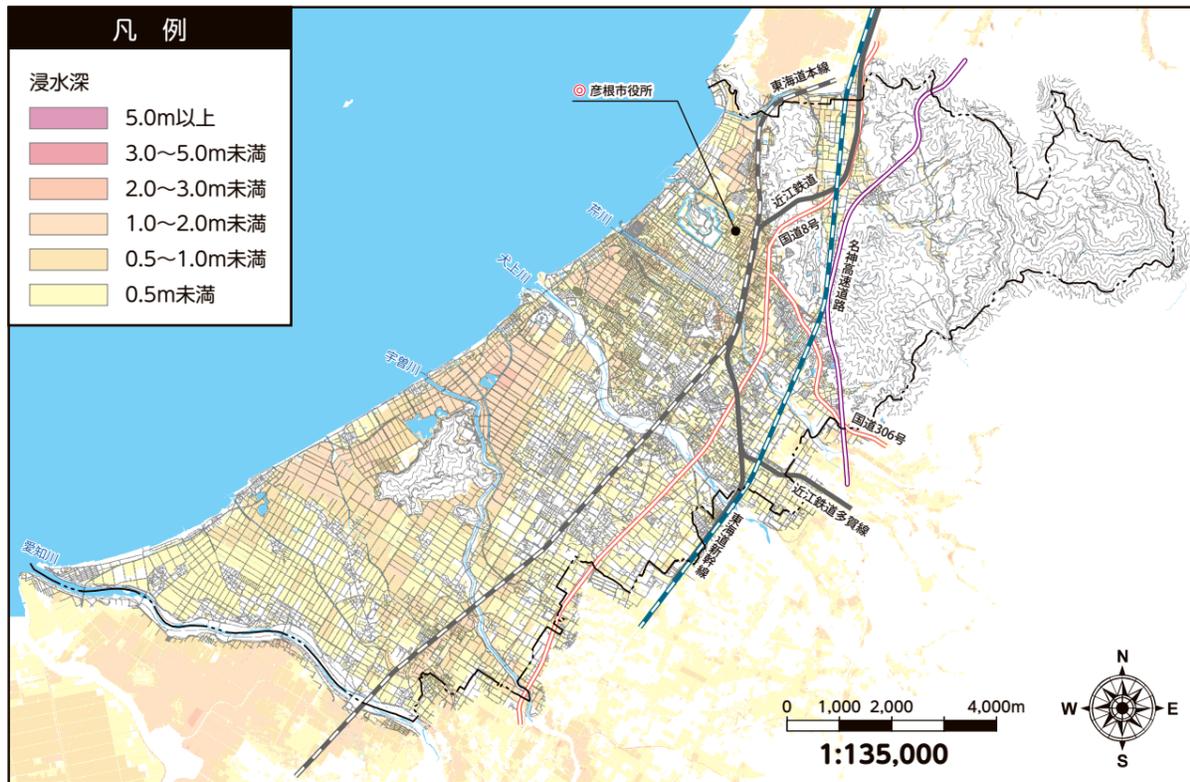
滋賀県地先の安全度マップは、氾濫原(平野、平地部)における氾濫の実態を把握することを目的とし、複数の河川の氾濫や内水氾濫を考慮しています。

地先の安全度マップはP35へ



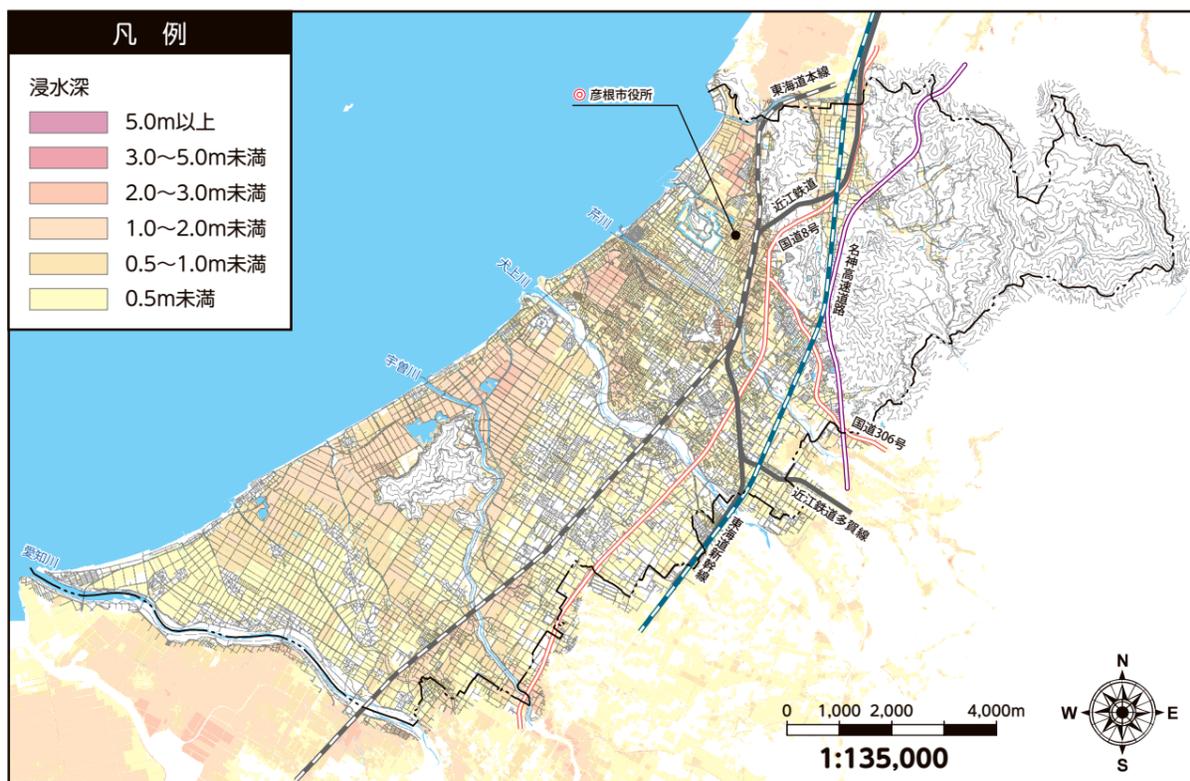
水路や小河川も同時に氾濫したら

■地先の安全度マップ「100年に一度の大雨」



※出典：彦根市最大浸水深図 100年確率 滋賀県 令和2年3月

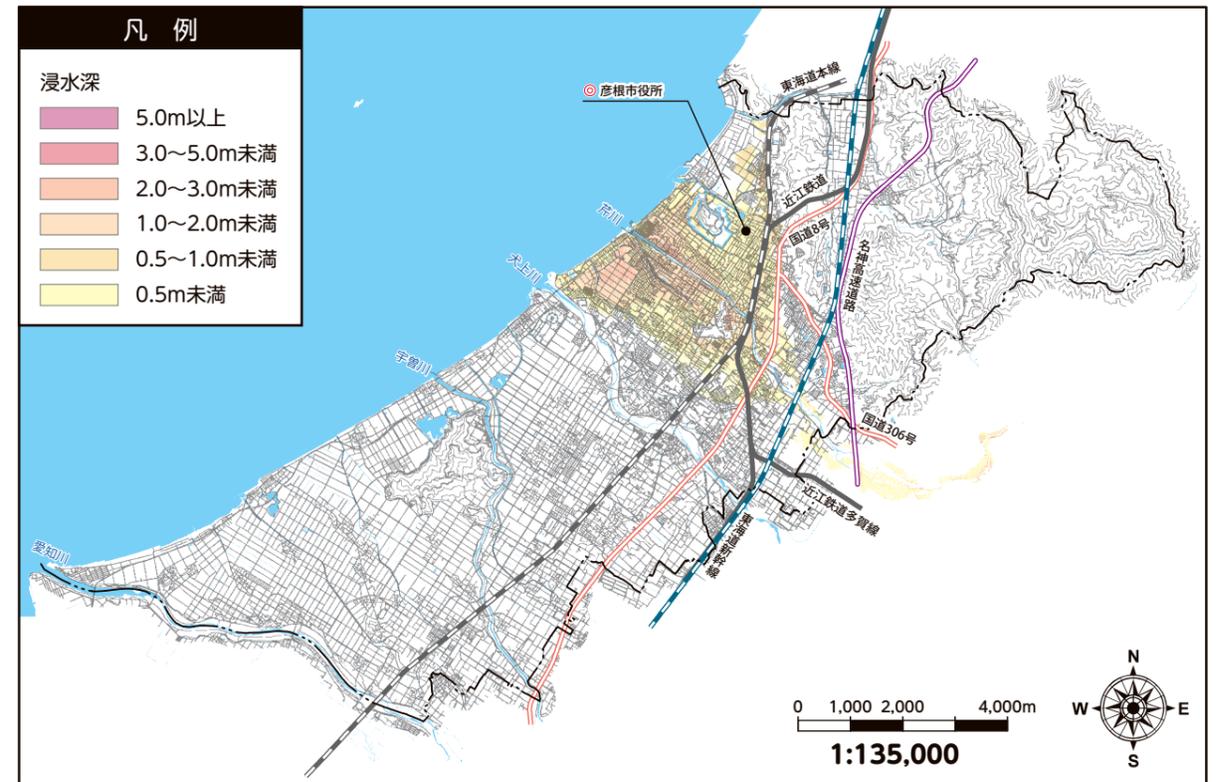
■地先の安全度マップ「200年に一度の大雨」



※出典：彦根市最大浸水深図 200年確率 滋賀県 令和2年3月

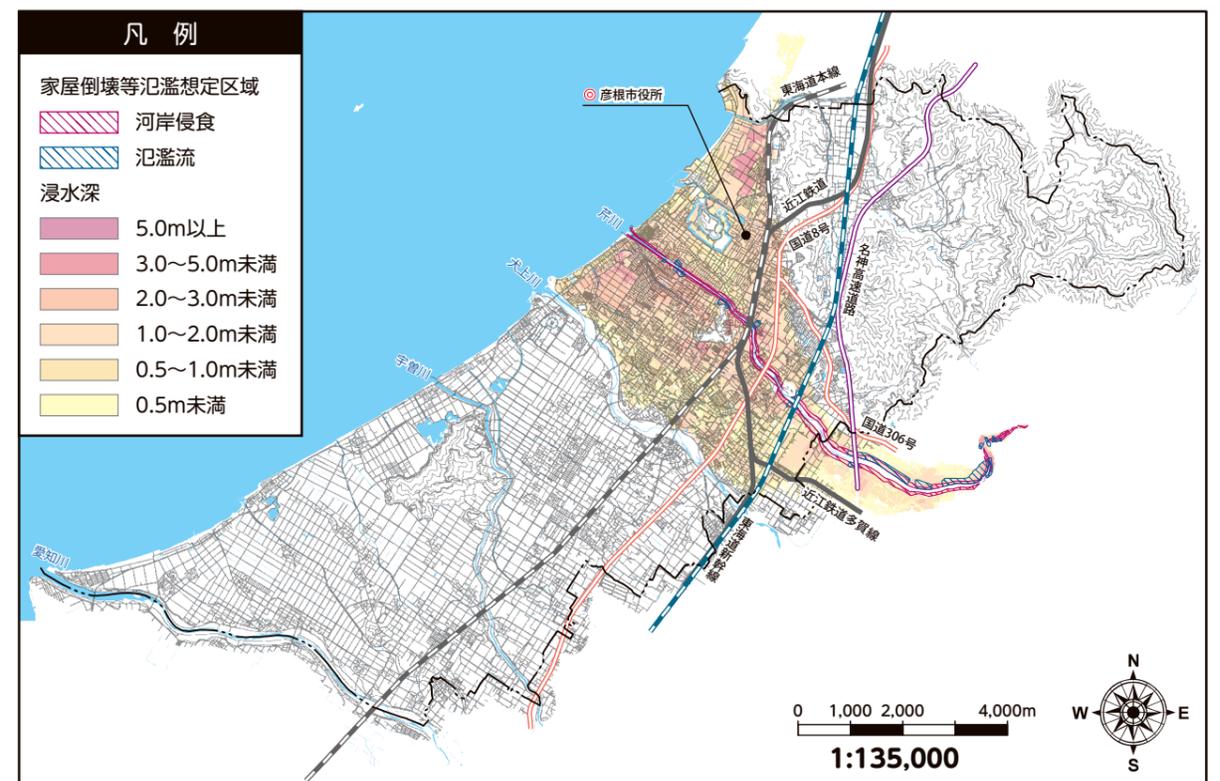
芹川が氾濫したら

■芹川洪水浸水想定区域図(計画規模)「100年に一度の大雨」



※出典：淀川水系芹川洪水浸水想定区域図(計画規模) 滋賀県 平成31年3月

■芹川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)「概ね1,000年に一度の大雨」

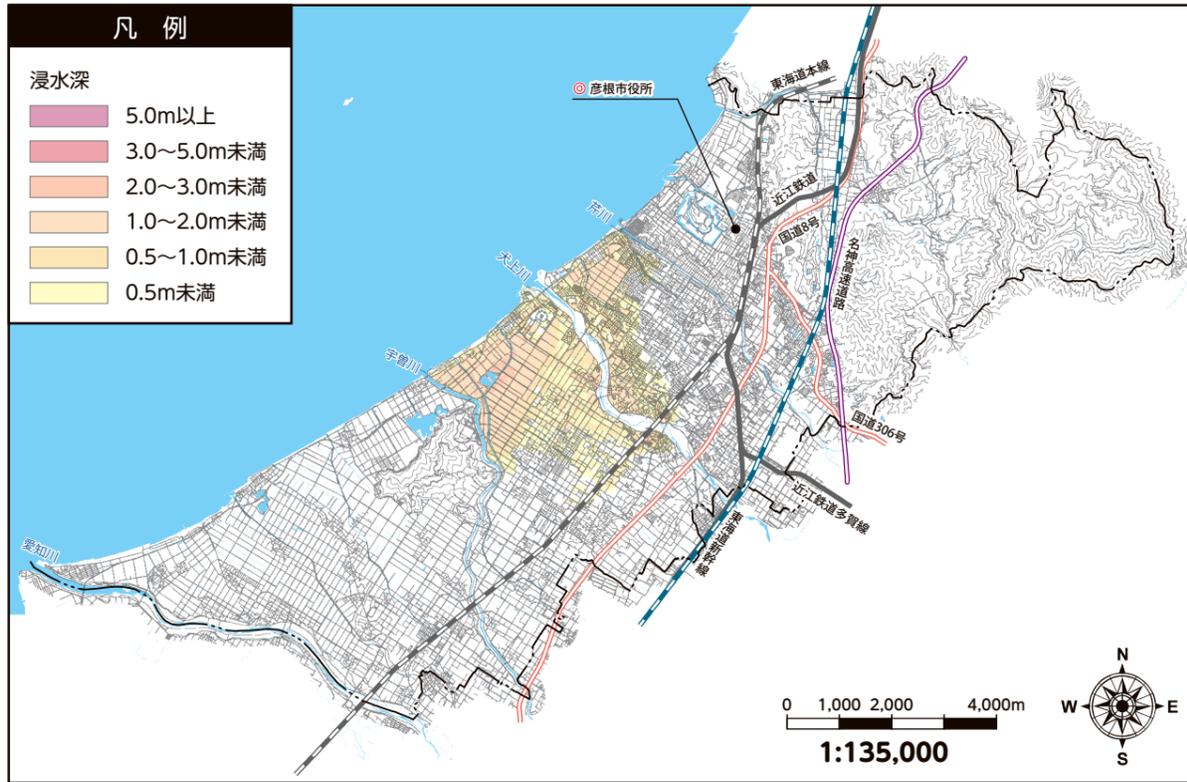


※出典：淀川水系芹川洪水浸水想定区域図(想定最大規模) 滋賀県 平成31年3月



いぬがみがわ はんらん
犬上川が氾濫したら

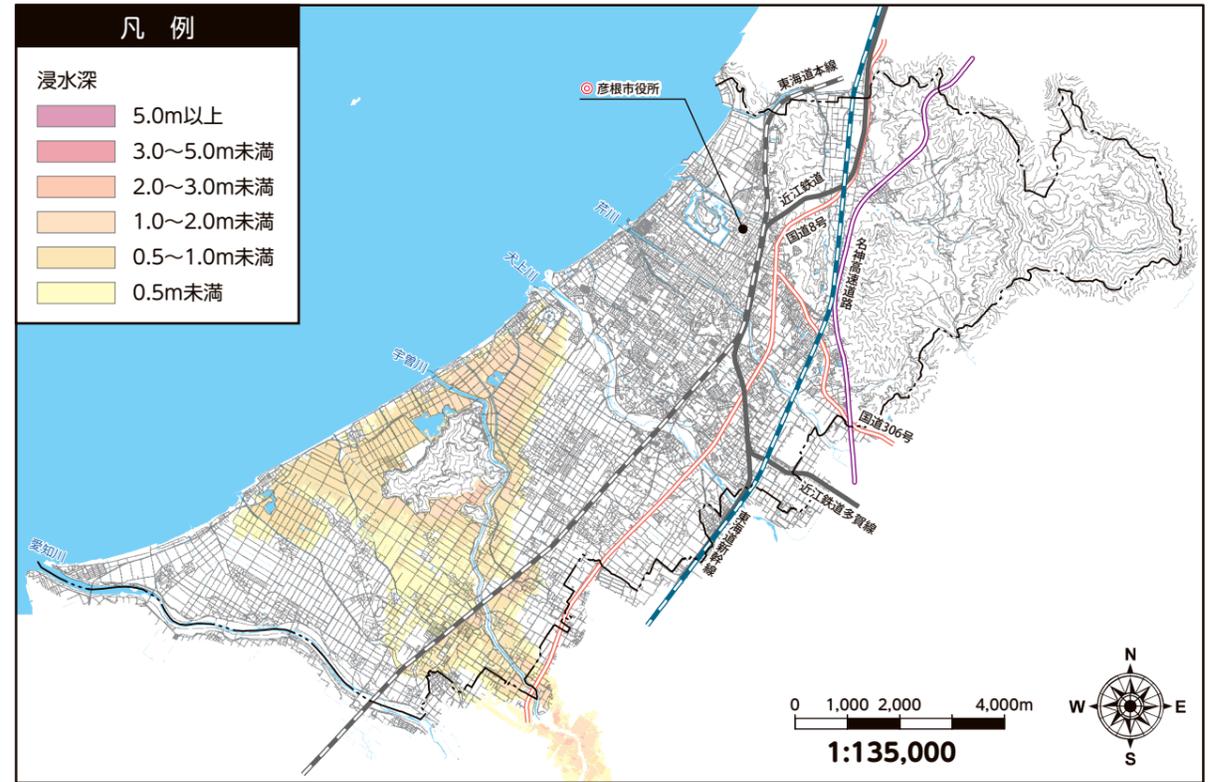
いぬがみがわ こうずいしんすいそうていくいさず けいかくきぼ ねん いちど おおあめ
■犬上川 洪水浸水想定区域図 (計画規模) 「100年に一度の大雨」



※出典：淀川水系犬上川洪水浸水想定区域図 (計画規模) 滋賀県 平成 31 年 3 月

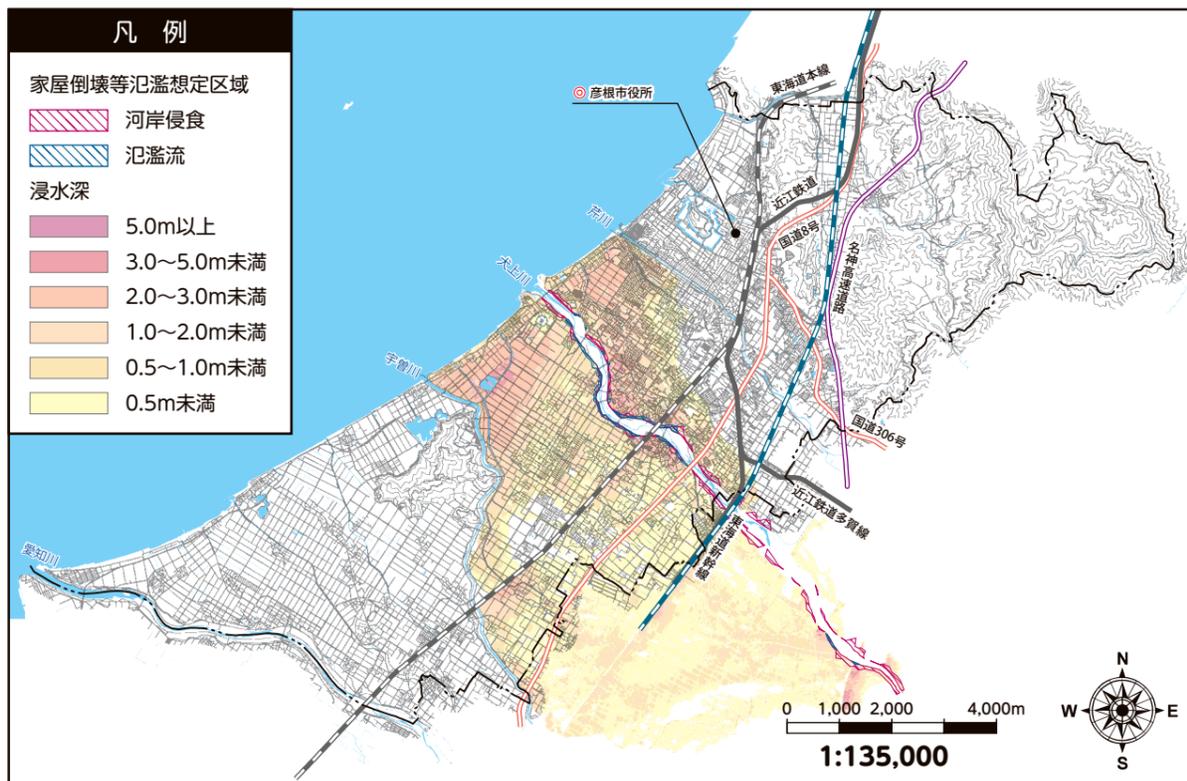
うそがわ はんらん
宇曽川が氾濫したら

うそがわ こうずいしんすいそうていくいさず けいかくきぼ ねん いちど おおあめ
■宇曽川 洪水浸水想定区域図 (計画規模) 「100年に一度の大雨」



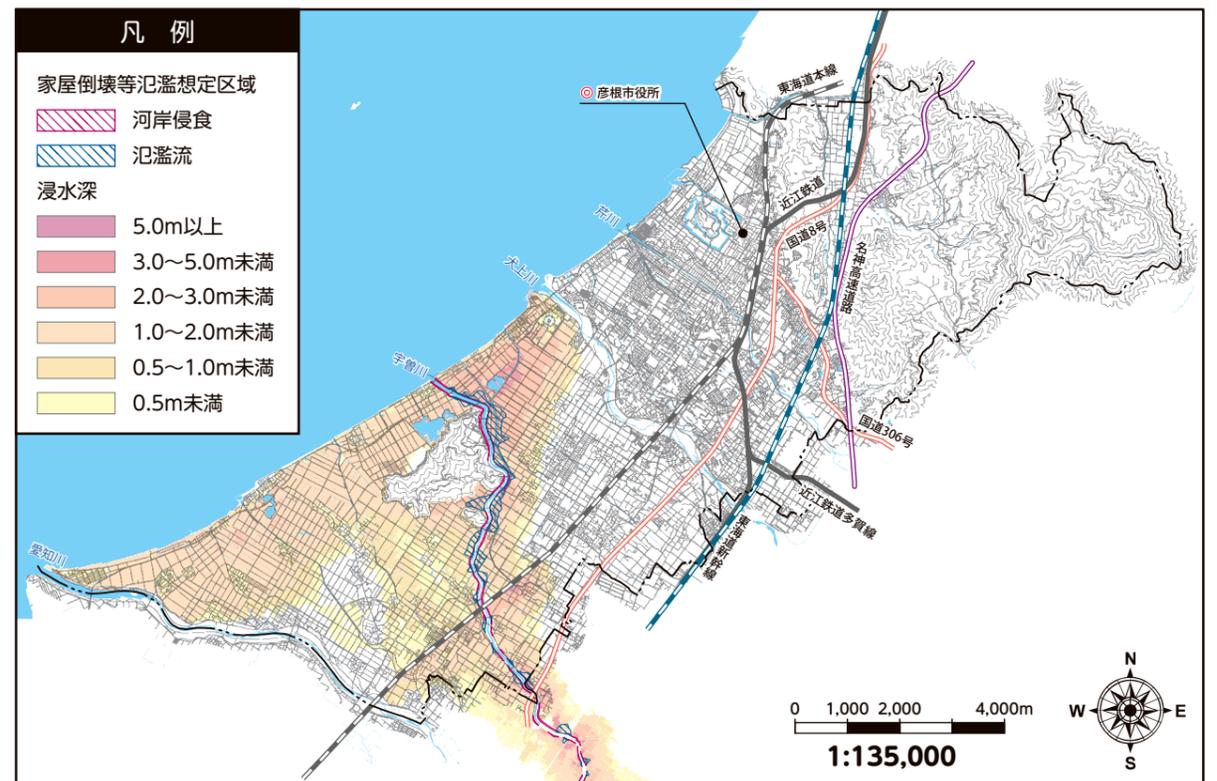
※出典：淀川水系宇曽川洪水浸水想定区域図 (計画規模) 滋賀県 平成 31 年 3 月

いぬがみがわ こうずいしんすいそうていくいさず そうていさいだいきぼ おおむ ねん いちど おおあめ
■犬上川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) 「概ね 1,000年に一度の大雨」



※出典：淀川水系犬上川洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) 滋賀県 平成 31 年 3 月

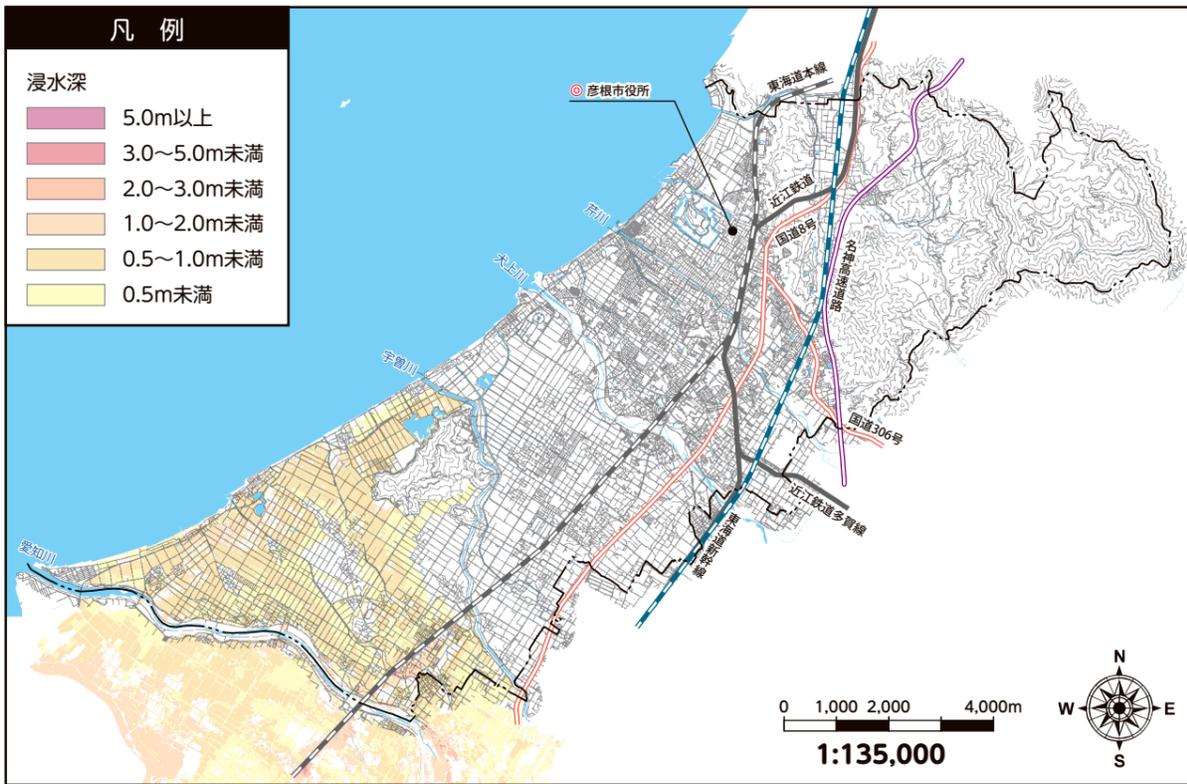
うそがわ こうずいしんすいそうていくいさず そうていさいだいきぼ おおむ ねん いちど おおあめ
■宇曽川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) 「概ね 1,000年に一度の大雨」



※出典：淀川水系宇曽川洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) 滋賀県 平成 31 年 3 月

えちがわ はんらん
愛知川が氾濫したら

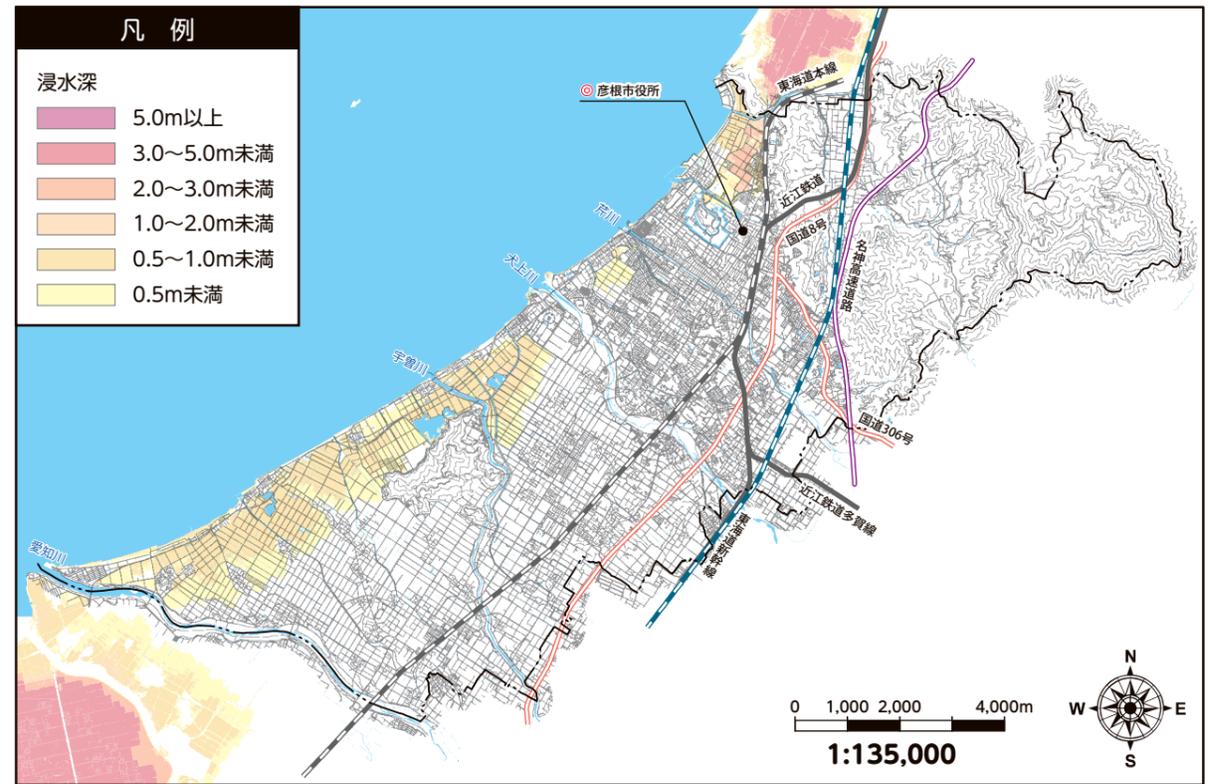
えちがわ こうずいしんすいそうていくいさず けいかくきぼ ねん いちど おおあめ
■愛知川 洪水浸水想定区域図 (計画規模) 「100年に一度の大雨」



※出典：淀川水系愛知川洪水浸水想定区域図 (計画規模) 滋賀県 令和 2年 6月

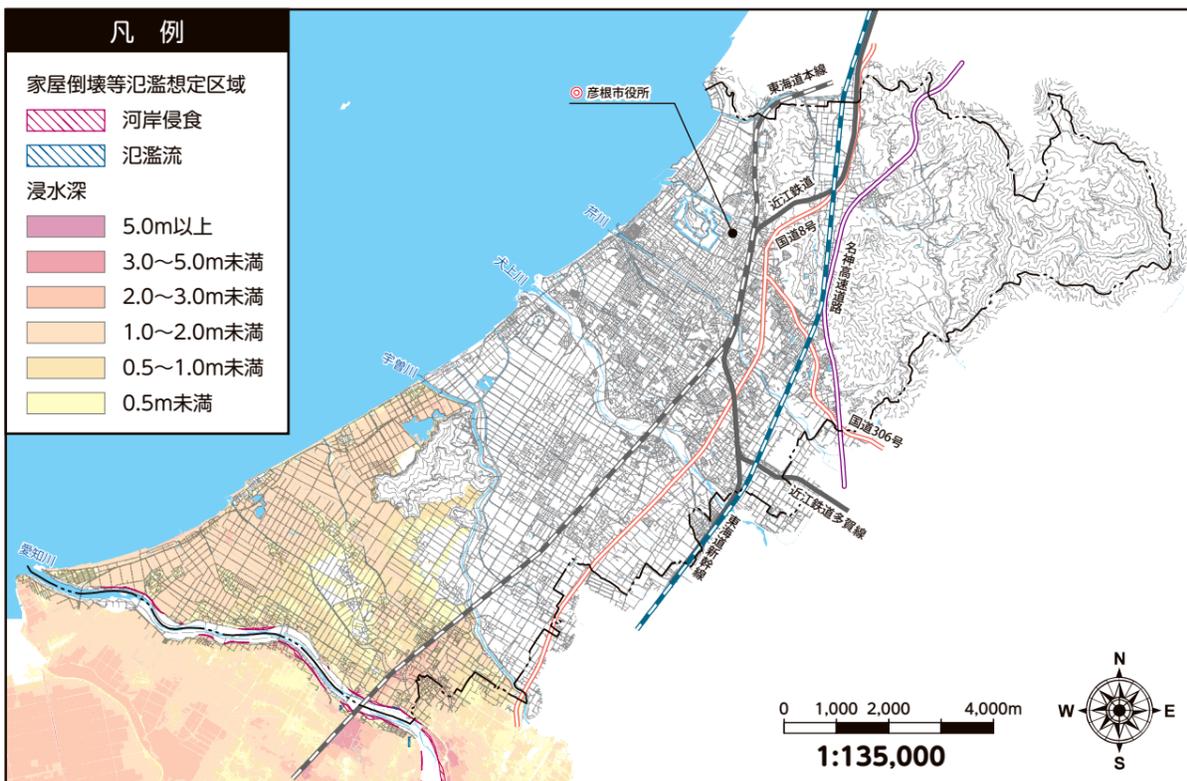
びわこ はんらん
琵琶湖が氾濫したら

びわこ こうずいしんすいそうていくいさず けいかくきぼ おおむ ねん いちど おおあめ
■琵琶湖 洪水浸水想定区域図 (計画規模) 「概ね 100年に一度の大雨」



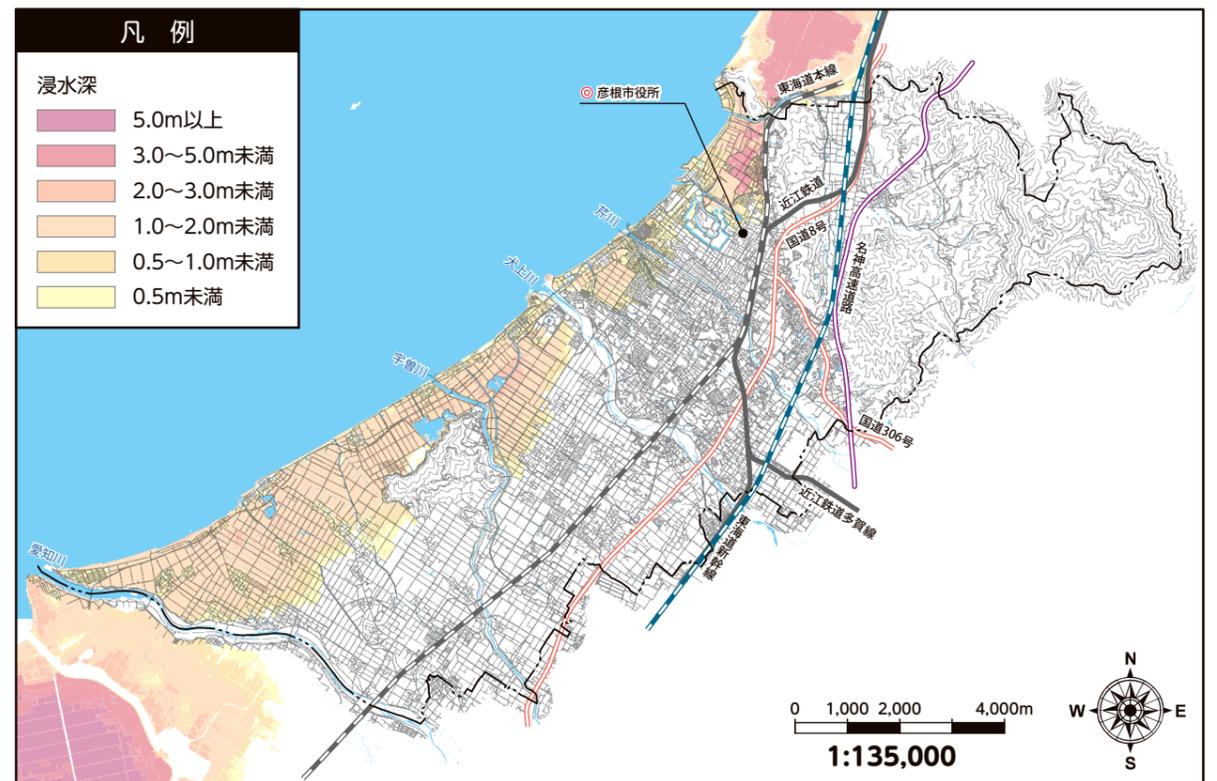
※出典：淀川水系琵琶湖洪水浸水想定区域図 (計画規模) 滋賀県 平成 31年 3月

えちがわ こうずいしんすいそうていくいさず そうていさいだいきぼ おおむ ねん いちど おおあめ
■愛知川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) 「概ね 1,000年に一度の大雨」



※出典：淀川水系愛知川洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) 滋賀県 令和 2年 6月

びわこ こうずいしんすいそうていくいさず そうていさいだいきぼ おおむ ねん いちど おおあめ
■琵琶湖 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) 「概ね 1,000年に一度の大雨」



※出典：淀川水系琵琶湖洪水浸水想定区域図 (想定最大規模) 滋賀県 平成 31年 3月